



11/3・4
Sun.&Mon.

外大祭開催!

模擬店、ライブ、ビンゴゲーム…。
学生たちのエネルギーが
キャンパスを埋め尽くした2日間!

秋の一大イベント、外大祭が今年も11月3日・4日に行われました。美味しそうな香りが漂う模擬店、ステージでは情熱的なフラメンコ、バンド演奏、来年2月にCDデビューが決まった学生のライブ、美しい着物姿の女子のお茶会等です。4日には女装コンテストも…。そして、毎年恒例、後援会主催のビンゴ大会も大いに盛り上がりしました。

今年はビンゴを完成させた順に欲しい賞品を選べることに。

目玉賞品は折りたたみ自転車・エアクリー

ナー・学生が喜ぶ学食のチケット

ト。ビンゴが完成しなかつた参加者の方には“飴

のつかみ取り”をご

用意して、お子さ

んからお年寄り

まで楽しんでで

らいました。

12/6
Fri.

Christmas GALA 2013

サンタのコスチュームで、お・も・て・な・し!
大勢の留学生といっしょに盛り上がりました。

今回のGALAのテーマはクリスマス。準備からがんばった甲斐あってGALAの目的である留学生との交流の場にふさわしい雰囲気で開催できました。今回は、前回よりも多くの留学生が参加してくれて、より交流を持つことができました。私自身も留学生と話すきっかけができて、友達にもなれたので大成功だったと思います。パーティーのイベントとして行った容疑者を探すゲームでは、日本人と留学生がいっしょのチームになれるよう工夫をしたため、みんな楽しく会話ははずんでいました。料理もクリスマスをイメージした豪華な料理が提供でき、みんなに満足していただけたと思います。スタッフは全員サンタのコスチュームを着用。普段できないファッションだけに最初は恥ずかしさもありましたが、最終的にはみんなが楽しめて盛り上がりました。装飾や音楽もクリスマスをイメージしたものを使って、会場はクリスマス一色となりました。

今回は、本当にいいパーティーになったと思います。次のパーティーでは今回の経験を生かしてより良いものにしたいと思います。後援会さまにはご支援いただきありがとうございました。

実行委員長(ドイツ語学科2年次生) 鎌田 理穂さん





目標高く 活動しています！

京都外大には64団体のクラブがあり、サークル等を含めるとその数は70団体を越えています。今回はその中から、弦楽アンサンブルとゴルフ部を紹介します。

【弦楽アンサンブル】

弦楽アンサンブル 部長
英米語学科 3年次生 藤本 美穂

皆さんこんにちは。弦楽アンサンブルです。

弦楽アンサンブルは、バイオリン、ビオラ、チェロ、コントラバスより構成されており、約20名で活動しています。また毎週火曜日と木曜日の18:30頃から10号館の一室を借りて練習しています。部室は常時使用できるため、練習日以外にも時間をとって個人練習やパート練習に勤しむ部員も少なくありません。

部員は皆仲がよく、経験者も未経験者も垣根なく互いに教え合って練習しています。また練習日には外部より専任のレッスンの先生が来てくださっているため、非常に有意義な練習が行えています。少ない練習時間と少ないメンバーで、如何にして沢山の曲を仕上げられるかというのが私たちの通年の課題です。



後援会では、
部活動を奨励金
でサポート！



【ゴルフ部】

ゴルフ部 部長
フランス語学科 2年次生
上田 修平

ゴルフは手軽に始められる！

私たちゴルフ部は、現在男女あわせて10人で活動をしています。活動場所は第二館屋上にネットが張ってあり、そこで普段は活動しています。活動内容としては、普段は火曜と木曜の5時半から第二館屋上で活動しており、月に一度か二度ほど高雄にある打ちっ放し場へ行ったりもしています。入試休みや夏休みなどにはゴルフのコースを回ったりもします。

ゴルフとは紳士のスポーツと言われています。そのためマナーはとても大事であり、ゴルフ部では上手さよりもプレーマナーの方に重きを置いております。その事は普段の生活にも活かされていると実感しています。

これからも、ゴルフ部の発展を目指して頑張っていくので、ご指導ご鞭撻のほどをよろしくお願い申し上げます。

11/29 Fri Club Irie Vol.7

リズムで世界がひとつになる！
本格的なクラブスタイルパーティで、留学生と交流。



京都外大では今年の4月からクラブスタイルのパーティを学内(11号館2Fのラウンジ)において定期的(毎月1回)に開催されています。入場できるのは京都外大の学生に限られていて、学生と留学生が気軽に交流できる場を提供することによって、キャンパスに国際的な雰囲気と文化を取り込み、京都外大としての特色作り貢献していくことを目指しています。

欧米の大学では盛んなクラブスタイルのパーティですが、学内でのイベントなので入場するには学生証を提示することが必要となり、未成年者へのアルコールの提供が防止されるように管理システムも徹底されています。イベントは2時間ほどですが会場ではサポート教員がパーティの終了まで監視しており、参加者へのアルコールの提供については厳しくコントロールされていました。

今回は11月29日の7回目のパーティの様子をお伝えしますが、DJブースには本格的なターンテーブルと機材が設置されており、音響システムからは学内とは思えない洪水のような音量で体が包まれます。スタッフの学生さんに聞いたところミラーボールも天井に取り付けられたそうで、ダンスホールのような雰囲気もバッチリでした。

この日のテーマは「Shaken' Mix」ということでメニューには様々なカクテルが提供されていましたが、参加者はカクテルを楽しむよりもダンスとおしゃべりで、海外の留学生さんとダンスでコミュニケーションをとれるのも外大ならではの。

DJやMCさんのパフォーマンスはさすがで、パーティの終わり頃にかけては皆さん盛り上がりつつフレンドリーな一時を過ごさせて頂きました。

[広報部会 岩本 康史]

第14回教育懇談会

京都外国語大学・京都外国語短期大学・後援会

講演
就職活動時期の学生との接し方
池崎 宏昭



大学と共に考える学生たちの未来

2013年(平成25年)度 教育懇談会実施報告

今年度も教育懇談会が東京、福岡、大学の三会場にて開催されました。就職活動時期の学生との接し方をテーマにキャリアセンターより講演を頂きました。

その後、教職員との懇談会、個別相談会が開催され熱心な意見交換が行われ、学生たちの将来への思いを共有する

貴重な機会となりました。

東京会場

9/29
Sun.



11/3 京都会場

Sun.



9/29
Sun.

福岡会場

教育懇談会 講演要旨 キャリアセンター長 池崎 宏昭

「就職活動時期の学生との接し方」

保証人の皆さまにおかれましては、いつもキャリアセンターの活動にご理解を賜り、誠にありがとうございます。4年次生の内定決定件数は、ほぼ昨年同様の届け出状況を示しており、最終的な就職率も昨年同様90数パーセントに達すると予測しています。

さて、今回は就職活動における「情報の非対称性」ということについて考えます。この非対称性は、①保護者と学生の皆さん、②学生の皆さんと採用を行う企業の間に存在します。今回は①の非対称性について詳しく述べさせていただきます。

①非対称性の発生原因は「就職に関する話し合いをされない」ことによって起こります。典型的な例は、学生から「就職は自分の問題で親とは関係ない」という言葉、保護者からは「自分の好きなようにすればいい」というセリフ。果たして本当にそうでしょうか？どうぞ本音で考えてみてください。学生の就職問題はその家庭の問題ではないでしょうか？この時期に十分考えて双方の期待や思惑を話し合ってください。この本音の話し合いが、今までの学生の保護者に対する感情のわだかまりや保護者が学生に対して抱いている思い込みを氷解させてくれます。想像以上に学生は保護者のことを大切に思い、大学で学べる幸福感を感じています。この感情を分かち合ってください。



運営部会の活動報告

運営部会では、入学式のお手伝い、教育懇談会の開催、外大祭への出店(ビンゴゲーム)など、年間を通じて活動しています。

- 入学式では、新入生への入学記念品の贈呈や、保証人の皆様への後援会のご紹介。
- 保証人対象の教育懇談会(大学と共催)では、開催にあたってのお手伝い。
- 外大祭でのビンゴゲームの出店。学生だけでなく近隣の方々もたくさん参加され、豪華賞品獲得のため、毎年大盛況です。

運営部会の活動は、学生生活への応援ということだけにとどまらず、いろいろな学科、学年の親同士の交流が深まるなど、親にとっても貴重な機会となっております。これからも学生や保証人の皆様にとって、よりよい活動となるよう努力してまいります。ご一緒に活動していただける方が増えてくだされば、とても嬉しく思います。皆様もぜひご参加ください。

[運営部会 奥村 美庸子]



外大祭 ビンゴゲーム



教育懇談会の受付

「スペインで見つけた夢への第一歩」



千田 佳奈子さん

広報／早速ですが千田さんは京都外大時代、どんな学生でしたか。

千田さん／特に目立つ方ではなく淡々と毎日過ごすタイプでした。ただ、入学する時に両親と約束をした取れる資格はしっかり取るということは守れるようカリキュラムを組んでいました。

広報／入学時には将来の目標をしっかりと決めていらしたのですか。

千田さん／いいえ、入学した当時はまだまだ漠然としていました。それがはっきりしたのは、就活を始めてからでした。

広報／3年次になってからですね。

千田さん／はい、いろいろな企業を研究し、面接も受けていたのですが、どこも満足のいくものではありませんでした。就活にどうしてか身が入らない日々を送っていました。ところが、就活がうまく進まなければ進まないほど、中学時代に秘かに憧れていた職業への思いが強くなりました。

中学の時、外国語指導助手（ALT）の先生に英語を教わり、外国語に興味を持つと同時に外国人に母語を教えるという仕事に大変関心を持ちました。そしていつか自分にもできるのではないかとも思っていたが、この思いを誰にも打ち明けずにいました。しかし、このままでは夢は遠のくばかり、混沌とした日々の中で、周りの人にこの思いを伝えてみよう、公言実行だと思いました。家族や友達、先生に思い切って打ち明けました。“日本語教師になりたい！”

広報／踏み出した瞬間ですね！では、日本語教師のカリキュラムを取っていらしたのですか。

千田さん／いいえ、取っていませんでした。そこで専門学校を探し、大学とのダブルスクールを始めました。専門学校には50万円ほどかかり、大学で取っていればと少し後悔しましたが、中学時代からの思いがあったのでワクワクでした。

広報／資格取得後すぐにスペインでの仕事が決まったのですか。



千田さん／いいえ、まずインターネットで日本語教師の仕事を検索し、2011年8月からメキシコでの日本語教師の仕事を見つけ、早速応募しました。

広報／インターネット？心配はなかったのですか？

千田さん／色々とわからないこともありましたが、スペイン語の坂東先生やゼミの立岩先生にご相談しました。大変親身になってくださり、様々なアドバイスをいただきました。自分が何をしたいかを明確にし、大学・先生方にご助言いただくことの大切さを知りました。

広報／それは心強かったですね。メキシコの生活はどのようなものでしたか？

千田さん／設立からまだ5～6年の新しい学校で生徒は50人ほどでしたが、校長先生が日本の方でしたので、本当に安心して挑戦できました。半年はあっという間でした。

広報／メキシコから帰国後、すぐにスペインでの仕事が決まったのですか？

千田さん／2012年2月に帰国後、3～4か月でスペインへの派遣が決まりました。当時、提携大学では日本語教員を探しており、メキシコから戻っている私の存在が担当教員の目に留まったようで、お声掛けいただきました。お世話になった先生方の後押しがあったからと感謝しています。

広報／スペインの日本語学校はどんなところでしたか。

千田さん／マドリッド近郊のクエンカという町にあります。カステーヤ・ラマンチャ大学クエンカ校です。オープンカレッジでしたので、地域の方もいました。週に4日、初級の2クラスを2日ずつ持ちました。15人ほどのクラスで、ひらがな・カタカナ・簡単なあいさつを教えました。日本で例えるなら中学1年の2学期で習う英語程度のレベルです。

広報／日本語への関心は高いのですか。

千田さん／はい、アニメや漫画を通して日本への興味を持ち、日本人観光客を通して関心が高まっていたりと様々です。



広報／休日はどのように過ごしましたか。

千田さん／世界遺産の旧市街地のトレドが近かったのでよく出かけましたし、パレンシア・テルウェル・グラナダなどへも足を運びました。どこも美しくすてきなところでした。

広報／そんな様子が、『所さんの笑ってこらえて』で放映されたわけですね。

千田さん／きっかけは母の一言。「あなたが行く頃にスペイン支局ができるらしいわよ」と。その言葉を思い出しこちらから取材を申し出ました。

撮影は1週間ほどかかりましたが、とても良い思い出になりました。大学長からお言葉をいただきましたし、クエンカ校が初めて日本のテレビで紹介されたこともあり、観光局からプレゼントを頂いたりと反響の大きさに驚きました。

広報／では最後に、学生へのアドバイスがあればお願いできますか。

千田さん／習得した外国語を使って何がしたいかを明確にすること。商社での商談で活かすのか、学校で教えたいのか、外国人観光客のガイドをしたいのかそれは様々ですが、そこをはっきりさせておくことが一番大切だと思います。

私自身ができなかったこととして、後輩の皆さんにお薦めすることは、国際交流のボランティアなどの体験をするという事です。これは学生時代にしかできないことです。世界がぐっと広がると思います。私の場合はやりたいことが見つかったとき、両親がノーといわず応援してくれたことも大きかったです。

広報／これからも頑張ってくださいね！

広報部会
上治 浩樹

今年もいよいよ残りわずかとなってしまいましたが、いかがお過ごしでしょうか。本学では、この秋、外大祭を初めとする多くのイベントが開催されました。今回その一部をご紹介します。私は学生たちが一生懸命頑張っている姿に大変感動しました。親として今後も見守っていきたいと思っています。

さて、前号にてご案内させていただきました語学検定試験の全額助成（年2回）の活用状況ですが、まだまだ申請件数が少ないのが現状です。皆様から是非この制度を活用して頂けるようにお話ください。詳しくは、8号館総務部庶務課にて。

最後になりましたが、今後とも後援会活動へのご支援、積極的なご参加をお待ちしております。

原稿の投稿は
こちらまで！

kyotogaidai-commit
@hotmail.co.jp

スペースの都合上、
掲載できない場合もございます。
あしからずご了承ください。